

大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業

令和6年度予算額

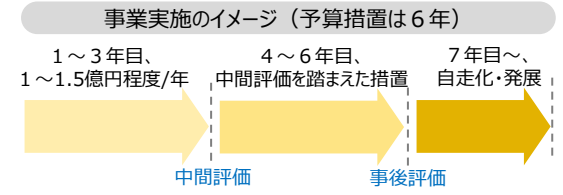
18億円
(新規)



文部科学省

背景・概要 | **事業実施期間** 令和6年度～令和11年度 | **資料3** 2024.4.24

- 大学の教育・研究活動を支えるのは、優れた人材。国際的な人材獲得競争が激化する中で、大学は研究機関としてだけでなく、教育機関として**多様性を活かしたイノベティブな人材育成を行うとともに、我が国の質の高い大学教育を海外でも展開してその認知度を高め、優秀な人材を育成・獲得していくための体制を強化していくことが急務**
- 留学生30万人計画の達成の過程を通じ、英語による授業科目や英語のみで学位を取得できるコースも増加し、一定の国際化が図られている一方、**外国人留学生と日本人学生が深く関わり相互研鑽に励むための環境が十分に整っていない、出口に着目した受入れが不十分等**の課題も顕在化



教育未来創造会議第二次提言に掲げられた目標の実現に向け、**国内外での国際的な共修のための体制の構築等を通じ、更なる大学の国際化の推進、日本人留学生の派遣、優秀な外国人留学生の受入れ・定着それぞれが相互に作用する好循環を創出**

- 教育未来創造会議第二次提言「未来を創造する若者の留学促進イニシアチブ〈J-MIRAI〉」（令和5年4月27日）
 - 今後の方向性
多様な文化的背景に基づく価値観を持った者が集い、理解し合う場が創出される教育研究環境、高度外国人材が安心して来日できる子供の教育環境の実現を通じて教育の国際化を進める
 - 具体的方策
教育の国際化の推進
・徹底した国際化やグローバル人材育成に大学が継続的に取り組むような環境整備
 - 2033年までの目標
 - 日本人学生の派遣
 - 学位取得等を目的とする長期留学者の数 6.2万人→**15万人**
 - 協定などに基づく中短期的留学者数 11.3万人→**23万人**
 - 外国人留学生の受入れ・定着
 - 外国人留学生の数 31.2万人→**38万人**
 - 留学生の卒業後の国内就職率 48%→**60%**（国内進学者除く）

事業内容

I. 地域等連携型

①国際共修の全学的な実施体制の構築、②出口に着目した留学生受入れの質の向上、③地域社会と連携した活動 等を実施 ※なお、予算措置対象は主に①のみを想定

- 件数・単価：10件程度×約100～150百万円
- 交付先：国公立大学（連携機関として短期大学・高等専門学校含む）

- 地域社会との連携による国際的な共修科目を体系的に組み入れ、**外国人留学生が我が国への理解・共感を深めるとともに、日本人学生が日常的に国際経験を得るようなカリキュラムの国際化を図る**
- 自治体や企業等との有機的な連携による**定着支援や地域での国際交流活動**を通じ、カリキュラム外も含めたキャンパスライフ全般において**外国人留学生が日本社会に溶け込み、共生していく環境を構築する**

外国人留学生の受入れ増大、大学を核とした共生社会の実現

II. 海外展開型

既存の海外大学内外在外拠点の活用等により、**学生を送り出せる環境の整備や、現地での共修環境の構築を実施**

- 件数・単価：3件程度×約150百万円
- 交付先：国公立大学

- 海外で教育活動を展開し、**現地大学の学生との共修等**を通じたグローバルな学びや**国際的ネットワークへの参画**を実現を図る
- カリキュラムの一環として、**学部レベルから大学院に至る各段階に応じたグローバル人材・価値創造人材育成に資するプログラムを構築し、日本人学生の送り出しを行う**

日本人学生の留学促進、海外での日本の大学のプレゼンス向上へ